

参加費無料!!
対面、オンライン
どちらでも
参加できます!

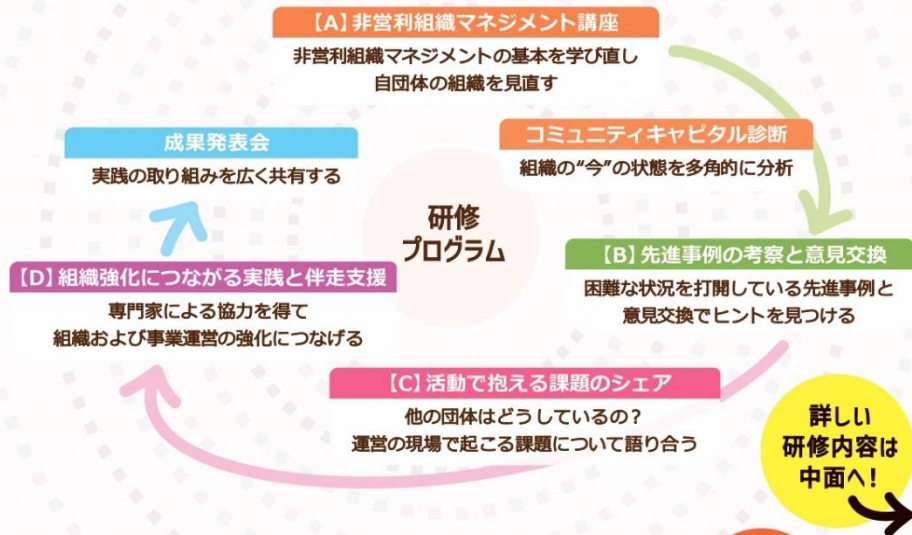
✓ひとつでも
当てはまったら
申し込みを!

「NGO等提案型プログラム2024」小規模NGOが組織面及び事業面で困難な状況を打開し
組織としての持続的な成長や活動の質の向上が図られるようステップアップするための研修

あなたの挑戦をサポートするNGO研修 ～持続可能な運営への第一歩～

- 非営利組織マネジメントの「基本」を学びたい&学び直したい
- 会員や寄付者など組織の「支援者」を増やしたい
- 支援者や事業の「参加者」を増やす取り組みの先進事例を知りたい
- 「専門家」の力を借りて組織課題解決のための取り組みを実践したい
- 組織マネジメントを見直し、自団体を「活性化」させたい
- NGO同士の「交流」を深めたい、NGOに関わる多様な人とつながりたい

本研修では、NGOが組織マネジメントを見直し、運営メンバーの固定化・減少や
特定のスタッフへ仕事が集中してしまう体制から脱却し、組織を活性化させ、
他のNGOの取り組みを参考に支援者や事業の参加者を増やす試みを実践します。
本研修を通じて、NGO同士の交流や専門的なスキルを持った人材とのつながりを形成し、
NGOを取り巻く人やノウハウの循環を後押しします。



■主催■ 独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 中部センター
■企画・運営・申込み先■ 特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター
| Tel&Fax | 052-228-8109 | 火～金 | 13:00～17:00 | 土 | 予約制
| E-mail | info@nangoc.org | Web | https://www.nangoc.org/

申込〆切
7/24 (水)

NGO等提案型プログラム2024

あなたの挑戦をサポートするNGO研修 ～持続可能な運営への第一歩～

開催日時：2024年8月22日～2025年4月19日

主催：国際協力機構 中部センター
事務局：名古屋NGOセンター

小規模NGOが、組織マネジメントを見直し、組織を活性化させ、
他のNGOの取り組みを参考に支援者や事業の参加者を増やす
試みを実践する。本プログラムの提供を通じて、NGOを取り巻く
人材やノウハウの循環を後押しする。

定員30名を大きく超える申込みがあり、愛知県周辺だけでなく沖
縄、熊本、福岡、愛媛、大阪、奈良、神奈川、東京、新潟、フィ
リピンなどから63名(24団体、個人18名)の幅広い参加となりました。
対面(会場：JICA中部)およびオンラインで開催しています。

A 非営利組織マネジメント講座

人の関わりにフォーカスした非営利組織マネジメントの基本を学び直し、自団体の組織マネジメントを見直します。

【A-1】非営利組織マネジメントの基本原則

日時：9月1日（日）13:00-16:00

【A-2】多様な関わり方のデザイン

日時：9月12日（木）19:30-21:30

【A-3】主体的な担い手を育てる

日時：9月19日（木）19:30-21:30

講師：呉哲煥さん

（特活）CRファクトリー代表



非営利組織の難しさの理由とその正体を知っておくことが必要です。「**温度差**」と「**多様性**」が広がりすぎること**で難しさ**が出てきます。これを解消するには「**愛着**」とか「**コミュニティ**」が**カギ**になってきます。

“やる”という2文字のあいまいさ。どこの団体にも「**すごくやる人**」「**そこそこやる人**」「**ほとんどやらない人**」がいます。**どれも悪くありません。そもそも多様なのです。**じゃ、どうしたらいいか。関わるメンバーの多様性を前提として、**そのコミットメントに応じて「関わり方のグラデーション」をつけることがコツ**です。

人にまかせるとき、**細分化と明確化**ができていないと、SNSの運用とか理事会運営とか、仕事を渡すのに**かたまりとして大きすぎて**しまいます。それぞれ切り刻めば20個くらいのタスクになるので、そのうちの2〜3個は人に渡せるということもぜひ考えてみてほしいと思います。

どうやって**人に役割と出番を持ってもらうか**というその視点を持ちつつ、ここは自分でやってスピードを出すとか、ここはリスクが少ないから人にまかせるとか、コミュニケーションに負荷がかかるけど学生ボランティアにまかせようとか、**最後はあんばい感**かなと思います。

B-1

支援・協力者を増やすための取り組み
支援の現場から学んだ、ヒト・チーム・社会の変え方

講師：鬼丸 昌也さん

(認定NPO法人テラ・ルネッサンス 創設者 理事)

日時：10月5日（土）13:00-17:00



私たちの原点は”ほっとけないという気持ち”なんだと思うんです。苦しんでいる人をなんとかしないといけない。いま苦しんでいる人を助けるためには、社会構造の変化が必要です。変化させるためには、社会の構成員である**市民の意識変革が必要**なんです。社会を変えていこうという気持ちをもってもら、そう働きかけることこそがNGOの使命なんです。寄付やNGOの会員になってもらうことは、その第一歩。つまり**仲間（ファン）を増やすことは事業（実施）と同じくらい大事**なんです。

組織を変えるために私たちがやったこと、それは”**議論と対話を使い分ける**”ことでした。議論していると同じ単語を使っているのに違う意味で使っていることがあって、話がかみ合わないことがあるんです。対話的な話し方をしていくと、それぞれが使っている単語の意味がわかってくる。議論ばかりすることがしんどくなる人もいますので、**今は議論する場、ここは対話する場とそれぞれ使い分けると、しんどさが軽減されるのでは**と思って実践しています。

B-2

組織支援のための取り組み

フィリピンでも、日本でも、
安心して議論できる場を提供できる組織へ

講師：野田 沙良さん

(認定NPO法人 アクセス 理事長)

日時：10月20日（日）13:00~17:00



B-3 支援者とのコミュニケーション
立ち上げ10年のNGOが
マンスリーサポーター354名を獲得できた秘訣
講師：下里 夢美さん
((特活) AlaziDreamProject 代表理事)
日時：11月9日(土) 13:00-17:00



スタッフにお世話になっているとか、活動していると人に出会えて楽しいとか、頑張っているスタッフへの応援の気持ちなどといった外発的動機では、寄付はするけどなかなか続きません。寄附の決定打は総合的だと思うのですが、継続的な関係が続くのは**内発的動機が優位なとき**だけ。課題を解決するために「私たちの代わりに支援を届けてくれてありがとう」という内発的動機を満たす**感謝の循環が生まれたとき**、寄付が継続されると思っています。

動画のメリットは情報量が多く、動画を見て**雰囲気をつかんでもらう**のができるので非常に便利です。写真＋文字を読むのは、左脳を動かして、ロジカルに頭に入れるということになります。でも、動画は理解をするよりは“わかる”といった感じで、**右脳が働く**ことになります。**人の心が動くためにはどちらも必要**。情報を提供する側が使い分けをしなくてはなりません。

B-4 メディアを活用した事業展開
YouTubeを通した発信力強化

講師：牧野 佳奈子さん
(一般社団法人DiVE.tv)
日時：11月30日(土) 13:00-17:00



参加者の声

ワークをしてみることでメンバーそれぞれの仕事の分担がともクリアにみえてきました。

「温度差」があることを前提に活動していると内部でのズレも解消できると思うので、すぐにでも取り入れていきたいです。

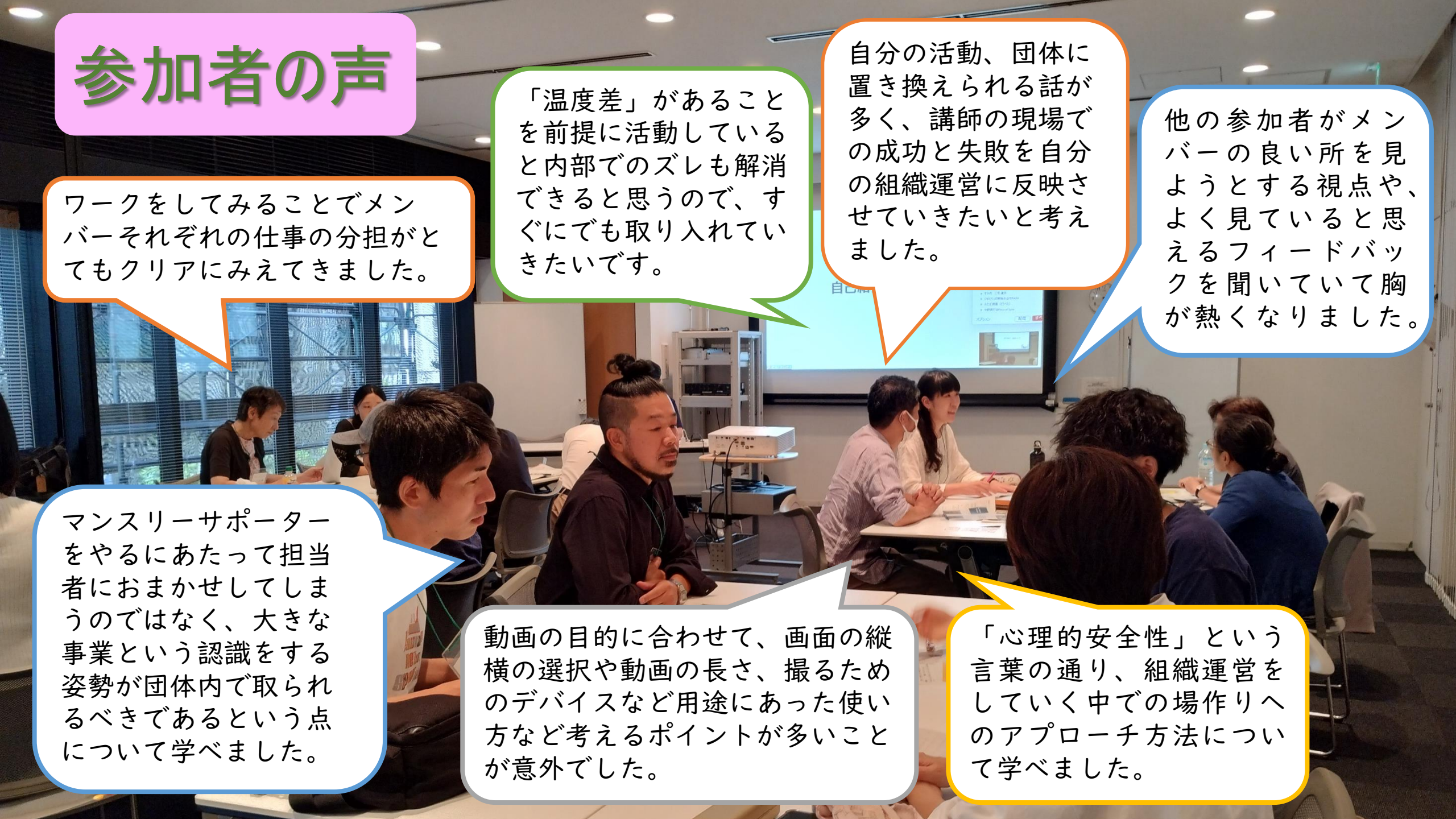
自分の活動、団体に置き換えられる話が多く、講師の現場での成功と失敗を自分の組織運営に反映させていきたいと考えました。

他の参加者がメンバーの良い所を見ようとする視点や、よく見ていると思えるフィードバックを聞いていて胸が熱くなりました。

マンスリーサポーターをやるにあたって担当者におまかせしてしまうのではなく、大きな事業という認識をする姿勢が団体内で取られるべきであるという点について学びました。

動画の目的に合わせて、画面の縦横の選択や動画の長さ、撮るためのデバイスなど用途にあった使い方など考えるポイントが多いことが意外でした。

「心理的安全性」という言葉の通り、組織運営をしていく中での場作りへのアプローチ方法について学びました。



C 活動で抱える課題のシェアリング 話題提供団体

【C-2】日時：2025.2/12（水）19:30～21:30

- ・ みんなのさいわい 三宅達夫さん
「法人化を見据えたスケーラブルな組織への改革」
- ・ NPO法人 新潟国際ボランティアセンター 西野紗和子さん
「TikTokでのアカウント作成と動画配信」
- ・ NPO法人 イランの障害者を支援するミントの会 大澤照枝さん
「ルーブリックを使ったメンバーの巻き込みルーム」

【C-3】日時：2025.2/27（木）19:30～21:30

- ・ 一般社団法人 MABADILIKO 土井直恵さん（当日欠席）
「数ヶ月を費やして応募した助成金が通らなかった時の対処法」
- ・ NPO法人 イカオ・アコ 二角智美さん
「フィリピン出張(1月末)での活動の動画作成(SNS用)と配信」

【C-4】日時：2025.3/13（木）19:30～21:30

- ・ AfricAsiA 渡邊亜美さん
「2月末の渡航時の動画撮影・編集および事業紹介での使用」
- ・ 認定NPO法人 ピープルズ・ホープ・ジャパン 南部道子さん
「インターンやボランティアの巻き込み」

本研修のコースリーダーは坂茂樹さん、サブコースリーダーは松浦史典さんです。現在も研修は続いています。4月19日に成果発表会を開催します。そして2025年度も同様の講座を開催する予定です。

D 組織強化につながる実践と伴走支援（4団体）

・ 認定NPO法人アイキャン

団体担当者：長谷川薫さん
テーマ：支援・協力者を増やすための取り組み
専門家（伴走者）：堤大介さん
コーディネーター：田口裕晃さん

・ 公益財団法人アジア保健研修所（AHI）

団体担当者：関口明希さん
テーマ：メディアを活用した事業展開
専門家（伴走者）：藤岡博孝さん
コーディネーター：坂茂樹さん

・ NPO法人外国人ヘルプライン東海

団体担当者：後藤美樹さん
テーマ：組織改革のための取り組み
専門家（伴走者）：呉哲煥さん
コーディネーター：坂井敏子さん

・ NPO法人幸縁

団体担当者：近藤咲さん
テーマ：支援・協力者を増やすための取り組み
専門家（伴走者）：鬼丸昌也さん
コーディネーター：松浦史典さん